

# 新宿区立漱石山房記念館 令和2年度第1回運営学術委員会

## 議事概要

開催日：令和3年3月18日（木）書面開催

出席者：15名

半田昌之会長、中村廣子副会長、石崎等委員、大野淳一委員、鈴木達也委員、中川武委員、中島国彦委員、湯浅隆委員、山口進委員、吉川友子委員、宇山幸宏委員、松澤亮委員、鈴木靖委員、菅野秀昭委員、北見恭一委員

欠席者：0名

事務局：小泉栄一（文化観光課長）、北村こころ（文化資源係長）、久米美弥子（文化観光課学芸員）

### 議事概要

#### (1) 令和2年度事業開催状況等について

##### A 委員

・コロナ禍の下で国内（全世界）の博物館が甚大な影響を被る中で、記念館の運営も様々な通常外の対応を迫られた年度であり、有料・無料の入館者数ともに6割以上の減少となっている。日本博物館協会が実施した緊急アンケート調査結果（別添資料）に照らしても、この状況については致し方ない結果だったと考える。一方、こうした状況においても、博物館としての社会的役割を果たすために、来館者、職員に対する感染予防対策はじめ、利用者への情報発信について、オンライン環境の活用を含め様々な新たな事業に取り組んできたことは評価できる。

・また、決済のキャッシュレス化の促進への取組も、コロナへの対応だけでなく今後の博物館の効率的運営と利用者サービスの向上という視点からも適切な対応だったと考える。

##### B 委員

・今期は新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先することが重要視された中、可能な限りの感染対策を施し、開館していただき、記念館、関係部署の皆様のご心労とご辛労はいかばかりかと拝察した。

・講座・講演会の中止は「命を守る行動」のための適切な判断だと思う。その中で動画配信やオンライン朗読会など取り組みの工夫がみられる。

#### C 委員

・館の実績について。観覧者の人数は開催期間（日数など）との関係があり、一概に比較できないが、やはり「漱石の書と書簡」のように、漱石に特化した展示企画の方が人気がある。漱石及び漱石文学の紹介などの企画もおいおい必要なことのように思われる。

#### D 委員

・意見・質問ということではないが、コロナ禍や天候不順の中、関係の皆様のご尽力に感謝している。

#### E 委員

・コロナ影響の中で、適切であったと思う。

#### F 委員

・のきなみ、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となり残念であったが、やむを得ないと思う。

#### G 委員

・コロナ禍のなかで、状況をみながら可能な限り事業開催をすすめていたと思う。

#### L 委員

・感染症対策の中で開館していただき感謝したい。

#### I 委員

・通常展、特別展が総じて地味なようにも感じた。もちろん、専門的価値があるものを世に問うていくことや、所蔵資料を十分に生かすことは必要だと思うし、「漱石の書と書簡」は一般の関心も呼ぶとは思いますが、例えば著名な作品を軸にしたものや、現代的なテーマに引きつけたものを年に1回は開いても良いのではないかと感じた。

#### J 委員

・コロナ禍の中、安全、安心な開館さえ困難な時期に、入館者数1/3以下とはいえ、これほどの事業を継続したことは大変だったと思う。

映像配信の朗読などオンラインでの積極的な企画をしたことが、参加グループにとっても発表の場ができて良いと思った。

#### N 委員

・コロナ禍にあって、必要な措置を講じつつ、適正な事業を実施してきたと思う。

#### ○委員

・臨時休館や事業中止・延期もあったが、そのような中で必要な措置を講じつつ、適正な事業を実施したと思う。

### (2)令和2年度購入資料について

#### A委員

・硯はじめ、現状における記念館の資料収集方針に即した、優先順位にも配慮した適切な購入だったと考える。

#### B委員

・漱石関連の資料や遺愛品など入手困難の中、提示された品々を購入できたことは、本格的な漱石記念館を目指している中で、意義あるものとする。  
・初版本は意匠もよく、誰もが待ち望んでいた收藏品だと思う。

#### C委員

・こまかい説明がないまま、各委員が意見を述べるのは難しいのではないか。それから購入資料について、「漱石や門下生たちに関する情報発信と調査研究を促進する」(資料2のまえ書)という理由説明はやや弱いように思われる。小口の資料購入を挙げて説明することも必要と思う。

#### D委員

・漱石旧蔵品、肉筆作品が購入できたこと、結構だった。

#### E委員

・適切な内容と考える。

#### G委員

・漱石旧蔵の硯の購入について

個人から購入するのは初めてのケースだと思う。この購入がどうしても必要であるかはどこで判断したのか。個人の方から「買ってほしい」と言われた時、その必要性、その価格の妥当性はきちんと検証すべきだと思う。「収蔵資料選定委員会」ではどういう経緯で決定したのか。

・初版本・俳句軸について

必要な資料と思うが、必ずしもこの資料を優先して収蔵する必要があったのかは検証しても良いと思う。売られている資料にしっかり目くぼりをして、取引先の片寄りがないようにしつつ、ただ予算を消化するというののないようにすべきだと思う。

#### H 委員

- ・夏目漱石旧蔵硯が購入されたことにかかる経緯について説明してほしい。

#### J 委員

・貴重な遺愛の品が入手できたことは嬉しいことだ。主な品々はすでに神奈川の方にある中で、今後もし候補があったとしても、価格は高額になると考えられるので、基金の残額が頼りだ。

#### N 委員

- ・必要な資料購入ができたと思う。

#### O 委員

・購入を担当した立場から説明すると、硯については漱石ご子孫の方々からの紹介により、夏目家関係者から購入することができた。今日、漱石の遺愛の品を収集できる機会は稀有なことであり、貴重な機会を与えていただけたことに感謝したい。初版本については、常設展示をしている関係もあり、劣化を抑制するために副本を持つべきとの指導を学識経験者の方から受けていたので、状態や価格を勘案して購入した。今後も進めていきたいと思う。俳句幅は『図説漱石大観』に掲載されている資料であり、子規や松山との関わりを示す資料として重要であると判断し購入した。

### (3) 令和 3 年度事業計画について

#### A 委員

- ・全体の計画についてはよくまとめられていると思う。
- ・現状では、コロナ対策の継続が必要とされている状況の中での運営が求められる。引続き、利用者・職員の感染予防対策に万全を期していただきたい。
- ・感染の拡大状況を把握し、日常の運営の在り方について、昨年度の取組実績を活かして柔軟かつ適切に対応できる運営体制の充実・整備に努めていただきたい。そのためにも、これまで 1 年間の対策、事業展開への取組の事績をしっかりと記録として残し、今後の対応に活かしていただきたい。
- ・講演会や関連イベント等の開催については、感染状況を的確に判断しつつ、導入に取組ん

で成果を上げつつあるオンライン環境を利用した情報発信に積極的に取り組んでいただきたい。

- ・今年度導入されたキャッシュレス決済について、今後は対応できる決済範囲を拡大させ、ミュージアムショップのオンラインサービスの拡充等も視野に取り組む必要があると思う。
- ・当面、コロナ対策の継続も必要とされている状況ではあるが、記念館の博物館機能の充実に向けて、所蔵資料の整理、調査研究等、基本的学芸業務の効率的実施と充実に向けた取組についても、計画的に実施する体制の整備を望みたい。

#### B 委員

- ・通常展、特別展に期待している。
- ・講演会・文学さんぽ等、コロナの状況を判断しつつ、開催方法等を工夫し、可能になることを心待ちにしている。
- ・夏目漱石コンクールは記憶から薄れていくことのないよう、令和 3 年度は実施方法など検討してぜひ実現を望みたい。  
※ちなみに榎地区町連主催の「暗唱コンクール」も 3 年度は実施の方向で進めていく。

#### D 委員

- ・いずれも意欲的な企画。成功を祈念している。

#### E 委員

- ・良いと思う。

#### G 委員

- ・検討されたご計画で進めてもらいたい。「夏目家の人々」「手紙」については、コンセプトをしっかりと設定し、ただ資料が並んでいるということにならないようにしてほしい。

#### I 委員

- ・「森田草平」は興味深いですが、タイトルには、多少しつこくても漱石との関係性を明示した方が良く感じた。「手紙」も同様に、「漱石からの手紙」などとした方が良く思う。仮題の段階であるし、字数の制限などもあるかと思うのであくまで参考意見として。
- ・子ども向けイベントや記念講演会については、(1) で申し上げたような視点を勘案していただいて良いかもしれない。

#### J 委員

- ・漱石関連としての格調もあり、ご家族の身近なテーマもあり、良く考えられていると思う。

#### N 委員

- ・ 妥当な計画であると思う。

#### O 委員

- ・ 妥当な計画であると思う。ただ、テーマが少し地味な印象があるので、展示の目玉をつくるよう心掛けていただき、発信も十分行っていただきたい。また、森田草平についてはご子孫、関係者へのご挨拶、ご説明を丁寧に行っていただきたいと思う。草平ゆかりの地、故郷の岐阜市、疎開先の長野県飯田市、終焉の地の長野県阿智村等との連携も模索すべきだと思う。

### (4) 令和3年度臨時休館について

#### A 委員

- ・ 適切な判断と考える。

#### B 委員

- ・ 来館者の満足度を高めることが大切だ。また次の来館にもつながるものと考えるので、臨時休館日を設けての展示替えについて、提示されたものに賛同したい。
- ・ 臨時休館日の周知は早めにあらゆる方法・手段でお知らせいただきたい。

#### C 委員

- ・ やむを得ない、必要な処置と思う。

#### E 委員

- ・ コロナ状況が見通し切れない中、適切だと考える。

#### F 委員

- ・ 運用後にモニタリングを希望する。

#### G 委員

- ・ 計画を確認した。

#### H 委員

- ・ 適切な措置と思う。

#### J 委員

- ・来館しても一部しか見ることができないよりは、臨時休館を前もってしっかり周知したほうが良いと思う。それでも知らずに来る人には、付近の名所案内図がどこか近くにあれば（道草庵辺りにすでにあるかもしれないが）なお親切かと思う。

#### N 委員

- ・妥当な措置であると思う。

#### O 委員

- ・大変良い措置だと評価する。資料の列品は、ある程度時間をかけて丁寧に行うべきだ。それが資料の劣化を抑止し、美観とバランスを兼ね備えた展示につながる。短時間で前の展示を撤収し、新たな列品を行うことは資料事故を誘発するおそれがある。安全安心な展示作業こそ、資料ファーストであり、学芸員が質の高い業務を遂行することができる。資料は今を生きる我々だけのものではない。貴重な資料を未来に継承する上で、展示列品中の資料事故のリスクを限りなく除去することが不可欠だと考える。
- ・ただ、休館により図書室の利用もできなくなるので、1年間やってみて、利用者の声もきちんと検証して4年度に反映していただければ良いと思う。

### (5) 来館者向け無料公衆無線 LAN 及びクラウド型ミュージアムシステムアプリの運用開始について

#### A 委員

- ・Wi-Fi の環境整備は、博物館界全体に推奨されている方向であり、早期導入は歓迎する。
- ・「ポケット学芸員」は、ソフトとして全国の多くの博物館に導入されているソフトで安定感は定評があり、導入ソフトとしては妥当と思われる。
- ・こうしたソフトを活用して情報発信を充実させるためには、発信する基本となる資料情報のデジタル化の推進とともに、調査研究に裏付けられたコンテンツの充実が不可欠であり、こうした業務の充実との連動の中で活用されることを期待する。

#### B 委員

- ・来館者の利便性を図ることで大いに期待したい。

#### D 委員

- ・必要、有効なサービスと思う。

#### E 委員

- ・とても良い方法だと思う。

#### F 委員

- ・運用後にモニタリングを希望する。

#### G 委員

- ・計画を確認した。

#### H 委員

- ・「ポケット学芸員」の説明文に再考の必要があるのではないか。具体的には“Wi-Fi をご用意いたしました”→“Wi-Fi を用意させていただきました”

#### J 委員

- ・アプリを入れてみた。4 月になったら使ってみたいと思う。(このアプリを入れて接続すると、その 60 分は音声ガイド利用だけでなく、他のネットへのアクセスもこの Wi-Fi 経由で使えるのか。)

#### N 委員

- ・妥当な措置であると思う。

#### O 委員

- ・妥当な措置であると思う。スマホを展示室内で使用する際に、撮影禁止エリアでの撮影を抑止するための工夫を十分検討していただければと思う。

### (6) その他、ご質問、ご意見等

#### A 委員

- ・コロナ禍の下で、現場の運営では何かとご苦勞の多い年度だったと思いますが、無事に年度を終え、新たな試みに対しても一定の成果を残せた背景には、区や財団との情報共有、迅速な意思決定が重要な場面もあったことと思うが、一定の成果を残せたことは高く評価したいと思う。

- ・引続き、コロナ禍への対応も必要とされる状況が続くが、これまでの試行錯誤から学んだことを今後に活かし、より充実した事業展開をされていかれることを期待している。



## B 委員

・資料の購入は会長や学識経験者の意見をうかがいながら収蔵資料選定委員会を通し、夏目漱石の本格的な記念館のため進めていただくことを希望する。

・ラン・アプリの運用は、情報社会において利便性を高めるために大いに必要と考える。ただし、ICT 機器の操作の出来ない人、環境下になくいる人のための配慮も従来通りお願いしたい（現行のペーパー類）。

## K 委員

・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、教育現場としても記念館を活用することができなかった。3年度は感染状況を注視しながら、必要な対策を講じた上で、児童の見学や教員の研修等、記念館を活用できれば良いと思う。例えば記念館近隣の学校だけでも実現できればと考える。

## G 委員

・書面開催でも良いので、運営学術委員会は定期的を開催する方が良いと思う。今回の書面開催も議事概要はまとめていただきたい。